

まちの日記帳



できることから始めよう

—「てんとう無し」教室が開催されました—

2/10~27

積丹町教育委員会では、2月10日から27日の6回にわたり、55歳以上で軽い運動が可能な男女を対象とした「てんとう無し」教室をB & Gセンター内で行いました。

教室では一人一人の問診を行い、健脚度測定を実施し、「転倒予防の必要性」についての講座やストレッチ体操、バランス運動、体を動かすレクリエーションなど行い延べ104人が参加されました。

この教室では「できることから始めよう」をテーマに定期的に運動を続けることを目標として、筋力の低下をくい止め、筋力を向上させることで転倒を防ぎ、いつまでも元気でハツラツとした生活を送れるよう指導しています。



～交通安全へ願いを込めて～

町商工会婦人部「愛の鈴」

新入学児童へ 4/6 ・ 運転ドライバーへ 4/16 配布

積丹町商工会女性部（葛西幸子会長、部員45人）は交通安全への願いを込めた「愛の鈴」200個と新入学児童へ贈る「交通安全のお守り」を3月31日、葛西部長と会員2名が役場を訪れ、松井町長へ手渡しました。

かつては、全国の商工会女性部で取り組みが行われていたこの「愛の鈴」は、近年では高齢化などにより取り組む団体が減ってきている中で、同婦人部では昭和53年から「愛の鈴」の寄贈が続けられています。同婦人部の皆さんが、今年の1月から仕事や家事の合間に製作している手づくりの品です。

寄贈された「愛の鈴」は4月6日の小学校の入学式に同婦人会の会員から入学式を終えた児童のランドセルに一人一人取り付け、交通安全を呼びかけていました。



3/31 町長室で「愛の鈴」寄贈



4/6 美国小学校入学式



4/16 交通安全運動期間の街頭啓発

また16日には春の交通安全運動に参加し美国郵便局前で街頭啓発を行い「スピードダウンとシートベルトの着用をお願いします。」と安全運転を呼びかけながら用意していた「愛の鈴」とポケットティッシュ、サブレ、交通安全のチラシなどをセットにしたものをドライバーに配布しました。

新企画!“焼肉雪中まつり”

—残雪を見ながら焼肉—

4/4・5

春の行楽シーズンを前に4月4日・5日の両日、味処しゃこたんの駐車場で「焼肉雪中まつり」が催されました。早春の新たなイベントとして観光客を呼び込もうと、味処しゃこたんを運営する(株)しゃこたん興業(村木靖社長)が今年初めて企画したものです。

駐車場の一角に設けられた「雪の壁」の中にテーブルとイスが並べられ、ジンギスカンなどの肉が野菜付で1袋1,000円で販売され、飲み物やおにぎりも用意されていました。冬の季節から解放されはじめ、久ぶりに屋外で食べる焼き肉を堪能し、町内外から訪れていた家族連れや観光客でにぎわいを見せていました。



『札幌しゃこたん会』総会

—郷土「積丹」を懐かしむ—

4/10

札幌市とその近郊に居住している積丹町出身者で構成されている札幌しゃこたん会(大沢哲会長ほか会員107名)の定期総会が札幌市内のホテルで開かれました。この日は会員49名と来賓を合わせて55人が出席しました。

大沢会長のあいさつに引き続き、松井町長が日頃のお礼と町の近況を報告した後、今年度の事業計画や収支予算などが決定されました。

その後の交流会ではふるさと振興協議会の山本俊三会長の乾杯で祝宴が始まり、出席された会員の皆さんは、お互いの近況報告や生まれ育った郷土「積丹」の思い出を語り合い懐かしんでいました。交流会では丹水や珍味など積丹の名産を景品にした「お楽しみ抽選会」が行われ出席者は楽しいひとときを過ごしていました。



水中展望船『安全運航祈願祭』

—4月18日から運航開始!—

4/16

(株)積丹観光振興公社(葛西幸子代表取締役)が運航する水中展望船「ニューしゃこたん号」の安全運航祈願祭が美国漁港で行われました。

祈願祭には役員や関係者17名が出席し、シーズン中の安全運航と事故防止を願いました。葛西代表取締役は「天候に左右されるが、明るい希望を持ち、接客マナーに力を入れ、沢山の方々に来てくれるよう安全運航に努めたい。」と挨拶されました。

毎年3万近い利用者が訪れ、観光客の目を楽しませてくれます。運航は4月18日より始まっており、本格的な観光シーズンに向けて多くの利用者が期待されます。

